

家の中心にある階段。移動する為だけの道具にする訳にはいきません。御要望にあった「あいまいにつながる」の一つの解釈なのですが、キッチンとリビングとの関係や2階と1階との関係を階段を使って隔てました。

特徴的なリビングは他のフロアレベルより70cm下がっています。つまりキッチンに立った奥様の視線の先には見下ろすのとは違った、自然な形でくつろぐ御主人の姿が正に「チラッ」と見える訳です。それから概要に記載のあった「L型ソファ」は、どう配置しても全体のバランスを窮屈にしまうため断念しました。私は敬愛する建築家「ヴェルナー・パントン」のコーンチェアをプランに入れてみたいと思うのです。非常に秀逸なラウンジチェアです。どうしてもソファにこだわりたいのなら是非オーバルの形状に合わせて私にデザインをさせて頂きたいとも思います。

それからパースの一番奥、階段の下に描かれているブラウンの壁は外部のR壁と同質の仕上げとします。サッシュレスで窓を作って外部とのシームレスな関係を強調したいと考えています。追記します。リビングスペースの「赤茶の木目」はAVボードです。TVを置きますから背面をすっきりさせる為にフロアより少し立ち上がっている造作家具を配置しました。

